

令和6年度 事業報告

令和7年3月31日
学校法人 函館国際学園

(1) 予算執行状況

① 当校を取り巻く環境

ウクライナ侵攻による社会情勢一般への影響は続けて深刻な状況にある中で函館市においては当校の令和8年度までの事業継続に必要な補助金の交付申請につき肯定的結論をもって市議会の承認に向かわれたとのことであり、当校はこれに対して一層の経営努力をもって報いる所存であります。2月11日開催の「はこだてロシアまつり」は昨年の約400人を大きく上回る入場者数と推察され市民の皆さまの厚いご支援を得て人数の減少した学校側の体制にもかかわらず大きな成功を収めることができ、感謝しております。ウクライナ侵攻による停滞が長引くとともに日本社会のロシアに対する感情が日々悪化し、日ロの相互理解への努力の行き場が見失われている現在、在校生の卒業まで見守ることでロシア語や文化の学びの場を提供し続けてきた当校の価値を最後まで守りたいと考えております。

② 収入状況

先の理事会にて承認された「令和6年度単年度収支決算見込み」および「令和6年度補正予算案」の後に、北海道補助金の増額（物価高騰対策48万円）がありましたので、再度補正予算を提案した以外に、大きな変更はありません。

③ 支出状況

先の理事会にて承認された、閉校に向けての弁護士委託費用110万円の支出について補正予算を組みました。その他は、その後の大きな出費はなく推移しております。

④ 学生の留学実習

令和6年度のウラジオストク留学は事故もなく思わぬ予定変更もなく実習内容の充実したものであります。これに関する出費も当校負担の授業料、留学奨学金残高利用とも予算の範囲内でおさまっております。

一方、令和7年度の留学実習については新3年生2名と新2年生1名の3名が10月～11月の2か月間の参加を希望しており、本学とも協議を始めております。資金については奨学金等で一部をまかなうべく検討中です。

⑤ 「一般寄付金」および「修学・雇用対策寄付金」残高

募集停止以前の寄付金「一般寄付金」	: 1, 170, 000円
募集停止後の寄付金「修学・雇用対策寄付金」	: 3, 805, 000円

(2) 学生数の異動状況 (年度当初) 在籍 14 名 (年度末) 在籍 12 名

1 年生 1 名が体調不良で前期に退学。また昨年度、家庭の事情により 1 年生に留年していた学生 1 名が年度末に退学しました。

学 年	1 年		2 年		3 年	4 年	合 計
	ロシア語科 211	地域学科 411	ロシア語科 221	地域学科 421	地域学科 431	地域学科 441	
年度当初	2 (休 1)	2 (休 0)	1 (休 0)	4 (休 0)	1 (休 0)	4 (休 0)	14 (休 1)
現 在	0 (休 0)	2 (休 0)	4 (休 0)	2 (休 0)	1 (休 0)	3 (休 0)	12 (休 0)

(3) 事業推進

- ① 学生数は少ないものの、学内外の行事への積極的な参加が目立ち、相互に向上する姿が見られます。2 月開催の「はこだてロシアまつり」の来場者アンケート結果での評価は高く、キオスクやロシアカフェは売切れが続発する盛況であり、学生たちには市民の方々への感謝とともに大きな自信を与えるものとなったようです。
- ② 補助活動事業や受託事業では、ウクライナ侵攻の煽りで、受講生の減少や税関ロシア語研修が中止されるなどの影響を受けております。日ロ交流の再開見通しも立たないことから、通訳・翻訳といった収益事業もほぼ見込みがない状況です。

③ ロシア語市民講座：4 コース開設 実施

	入門(夜)	初 級	中 級	上 級	合 計
前 期 (5 月～ 7 月)	5	4	5	2	16 名
中 期 (9 月～ 11 月)	2	4	3	2	11 名
後 期 (1 月～ 3 月)	2	5	4	2	13 名

④ はこだてベリョースカクラブ（文化講座）一年 7 回実施： 受講者 15 名

- ・年会費 3,000 円のところ、学生の聴講を無料で許可していることにより、年間を通じて学生が参加しています。イリイン・セルゲイ校長の死去ならびに鳥飼やよい准教授の退職に伴い講師とテーマを一部変更しましたが、既定の回数を行いました。

No.	テ ィ マ	日 付
1	ロシアのチンピラ文化	5/20
2	ロシアのバレエについて	6/10
3	E. レベデフ: 東洋学院卒・帝政時代最後の函館領事	7/8
4	ロシアの料理	9/30
5	ピオネール キャンプについて	10/21
6	マッド・サイエンティスト～人と発見、ユーリー・クノゾフ	11/18
7	ロシアにおけるキリスト教の隆盛と衰退、そして再興	12/16

- | | | |
|---|-----|--------|
| ⑤ 学報「ミリオン・ズビョースト」119～122号 | | 発行済 |
| ⑥ 市内小学生向け「夏休みマトリョーシカ絵付け教室」 | 12組 | 8月実施済 |
| ⑦ 「オトナのマトリョーシカ絵付け教室」 | 10名 | 12月実施済 |
| ⑧ 第27回はこだてロシアまつり | | 2月実施済 |
| ⑨ ウラジオストク本学から例年受け入れている留学生は日ロ双方の合意のもとに延期 | | |

(4) 就職支援活動状況

卒業したロシア語科（2年制）の1名の進路は不明。ロシア地域学科（4年制）は4名のうち2名が就職決定、1名は地元に戻り求職する予定。残る1名は2年制に転科し卒業。
 現在は、次年度の4年生1名に対して就職支援を続けていますが、現下の情勢から、学生が希望するロシア関係の求人が少ないため、広く一般の雇用需要を対象とする方針です。

(5) 学生の活動状況

「学生自治会」と密に連携を図りながら、学生のやる気と自立心を高めることを目標に指導しております。先の理事会以降の主なものを掲げます。

- ① 学外のロシア語弁論大会に2名が挑戦しました。上級生の積極的な姿勢が、下級生によい刺激を与えております。

全国ロシア語コンクール（東京）	一般部門	ロシア語科2年生	第3位	7月実施済
全道ロシア語弁論大会（札幌）	Bクラス	ロシア地域学科1年生		12月実施済
- ② 農業プロジェクト「アグリ八幡坂」：函館ハリストス正教会敷地内の畑を借りての農作業と漬物作りをしています。このほかの学生サークル活動も奨励しており、ロシア語歌謡（コール八幡坂）での練習を余念なくやっています。
- ③ キャンパス・コンソーシアム函館（CCH）アカデミックリンク発表会に2チームが参加
11月実施済
- ④ 「市長を囲むキャンパストーク」 ロシア地域学科1年生参加
11月実施済
- ⑤ 函館市北洋資料館、道立函館美術館見学 全学生
11月実施済
- ⑥ 校内の学習発表会 ABBΓ-Day（アーバーヴェーゲーデー）
12月実施済
- ⑦ オリジナルカレンダー：毎年発行するカレンダーは、ウラジオストク留学に行った学生やロシアで就労する卒業生から写真の提供を受け、500部作製しました。販売収益51,264円はロシアまつり開催費用等に充てるため、学生の自治会費に繰り入れました。
12月実施済
- ⑧ 「はこだてロシアまつり」の開催
R7/2月実施済

(6) 教育活動、地域貢献等

① 北海道教育大附属函館中学校「探求活動」インタビュー協力	6月実施済
② 開校30周年記念コンサート「極東の窓」から Vol.5 開催 200 名来場	6月実施済
③ NPO 法人日創幸会 市内視察講師派遣	7月実施済
④ 函館港まつり・いか踊り参加	8月実施済
⑤ 清泉女子大学文学部文化史学科市内視察講師派遣	8月実施済
⑥ 函館文化会 市民公開講座(共催)	8月実施済
⑦ 室蘭工業大学公開講座「日本のとなりの暮らしと文化」に講師派遣	9月実施済
⑧ 北海道大学シンポジウム「北海道におけるロシア語教育」に講師2名派遣	9月実施済
⑨ 「はこだてカルチャーナイト」参加 過去最高の 221 名の来場	9月実施済
⑩ CCH 図書館合同展示「はこだてLL文庫」の開催(WEB)	10～11月実施済
⑪ 「博物館友の会」講演会 講師派遣	11月実施済
⑫ 富山県立伏木高校でロシア語を履修する2年生19名の研修受入	12月実施済
⑬ 函館市公民館・シニア大学亀田校に講師派遣	2月実施済
⑭ CCH 図書館連携プロジェクト・ライブラリーリンク研修会への参加	3月実施済

(7) 理事会・評議員会等の開催状況

月 日	会 議	議 題
4月17日	会計監査	令和5年度 財産状況・業務執行状況監査
4月25日	臨時理事会	事業継続に関する協議
5月29日	理 事 会 評議員会	役員人事 令和5年度 事業報告および収支決算報告 令和6年度 事業計画(案)および収支予算(案)
8月20日	臨時 理事会・ 評議員会	学生募集停止後の状況報告 校長人事
11月20日	理 事 会 評議員会	令和6年度 事業中間報告及び収支決算見込みについて 令和6年度 補正予算(案)
令和7年3月19日	理 事 会 評議員会	令和6年度 事業報告および収支決算見込み

(8) その他

① 役員賠償責任保険の更新

役員賠償責任について、トラブル防止のために監督官庁から推奨される施策に基づいて来年度も役員賠償責任保険を2025年4月～2026年3月として更新します。

② ウラジオストク本学との合意と卒業証書

令和2年5月27日付けで締結した「ネットワーク方式教育プログラム実行契約書」にもとづき、本年も卒業証書(3名分)を無事受領しております。